

ココタウンデイサービスセンター

症 例 概 要 ご利用者：100歳代 女性 要介護5

期 間：2012年3月～ 2022年3月

経 過：

元気な頃はサークル活動をしたり、俳句の先生をし、県で表彰などされていました。高齢になるにつれて不調が現れ、家の中でじっとしていることが多くなり、認知症や歩けなくなる前にデイサービスに通い他者交流、身体機能面の現状維持を目標に通所を始めました。ご利用10年になり、段々と認知症や身体機能も低下し杖歩行から車椅子、要介護2から5へと変化してきました。今後も活気ある生活が送れるよう長寿記念を企画し、好きなお花やケーキをご用意しとても喜んで頂けました。以降も明るく過ごされ、素敵な笑顔過ごして頂けています。

内 容

80代までは地区のサークル活動に参加したり、俳句の先生をしたりと地域交流の活発な方でした。その後高齢となり身体機能の低下や、ご自宅での生活は引き籠りがちで何事にも消極的になっていたため、2012年にデイサービスに通う事を考え、当デイサービス利用となりました。始めは家が一番とお休みされる事も度々見られましたが、通っていくうちに日々のレクリエーションや入浴、美味しい食事に喜びを感じ、明るく楽しく通えるようになってきました。

しかし、デイサービスを10年通って来られる中で、杖歩行から車椅子へ、常食からミキサー食介助へと全体的に身体状態の低下が現れるようになりました。精神的にも気弱になり「もう年だから、やらない」と活気がみられなくなってきました。

そんな中、ご自宅で頭部を強打してしまい顔面に青あざを作り、気落ちしている様子を見た私たちは、ご本人に元気になって頂こうと、職員一丸となって大々的に「長寿のお祝い」を行う事にしました。

他の長寿記念の方と一緒に撮った記念写真をはじめ、皆で感謝やお祝いの言葉を綴った色紙やお花、写真大きなケーキに驚き、感動で涙されるなど輝かしい一日を過ごすことができ、その姿やご本人からの感謝の言葉は私たちの心にも強く胸に刻み込まれとても素敵な一時となりました。その後のご利用については、「どうしてもデイサービスに行きたい、どうしても行きたい」とご家族に訴え、お休みされる事なく現在も元気に通っております。またご家族からも感謝の声をいただいています。

ご利用者の長い人生の中で、私たちの活動がお役に立てたこと、これからも、たくさんの輝く瞬間に立ち会えるようにスタッフ一同努めて参ります。